

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	17-4	
PDCA	主要事業名	高齢者健康祝事業	部課名	福祉部高齢介護課	担当 内線	茶谷 371	
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 3 - 1 - 2 単位施策： 高齢者福祉 全体事業期間： 令和 4 年度 ～ 4 年度 全体事業費等： 1,932 千円 会計 一般会計 歳出科目： 03.01.02.15.50					目標項目（予算計上時に作成）	
	事業概要等	事業概要： 日頃から健康に留意し、健康寿命の延伸に貢献している高齢者へ敬意を表し、数え88歳（米寿）の節目で健康祝金を贈呈する。					
		事業目的： 健康寿命の延伸に貢献している高齢者に対して敬意の気持ちを表すとともに、高齢者の健康促進を図る。					
		事業内容： 健康寿命の延伸に貢献している高齢者の方に数え88歳の節目で健康祝金を贈呈する。					
		問題点・課題等： 健康寿命の延伸により対象者数が増加し、それに伴い事業費も増加する。					
	予算額 1,932 千円	主要事業とする理由					
	財源内訳	高齢者の健康意識の醸成や健康寿命の延伸という観点からも、市が行う重要な事業であるため。					
	市費 1,932 千円	得られる成果					
	国費 0 千円	祝金を贈呈することで、健康寿命の更なる延伸が期待できる。					
	県費 0 千円	目標値や目指すべき状態					
その他 0 千円	高齢者の健康寿命の延伸に寄与できる状態						
D 実績値	決算額 1,662 千円	得られた成果				評価項目（決算時に作成）	
		該当の高齢者に敬意を表し祝金を贈呈することで、健康意識が高まり、これまで以上に生きがいを 感じ、更なる健康寿命の延伸に寄与した。					
		成果指標					
C 課題の整理	事業の 評価・課題	B 長寿祝金の対象を見直すと同時に、令和4年度から新規事業として実施した。数え88歳の節目において、要介護等認定を受けておらず、健康寿命の延伸に貢献している方を対象に健康祝金を贈呈することで、高齢者の健康増進の励みとなった。					
	今後の事業の 方向性	改善推進 高齢者の生きがいや健康促進の観点から今後も継続していくが、社会情勢等も踏まえながら、必要に応じて事業の実施方法等の見直しを検討していく。					
A 課題後の方向性	観点別評価	必要性		有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	—	⑦コスト削減	ある
		②市民ニーズ	—	⑤成果向上の余地	ない	余地	※対象の変更
		③休廃止の影響	小さい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—